

高級黒毛和牛のおつまみ ビフテキジャーキー

ひがしどおりむら
青森県東通村
地図 E

東通村では、広大でなだらかな丘陵を利用した畜産業が古くから盛んです。起伏に富んだ地形と冷涼な気候、恵まれた自然環境のなかで育った東通村特産の『ひがしどおり和牛』は肉質、味ともに絶品と好評の黒毛和牛です。

その良質の肉を使って絶妙の味付けをし、じっくり乾燥させた「ビフテキジャーキー」は、全国でも珍しい贅沢な逸品です。ビールによく合うと、訪れるたびに購入するファンもいるほどの人気商品となっています。お土産としてもぜひご利用ください。

DATA

【お問合せ】東通村産業振興公社 ☎0175-47-2115
野牛川レストハウス ☎0175-28-5203
※数に限りがございますので、購入ご希望の方はお問い合わせください。



高級黒毛和牛「ひがしどおり和牛」



ひがしどおり和牛の逸品「ビフテキジャーキー」

温泉の2次活用で新たな商品開発に挑戦 温泉熱乾燥ドライフードづくり

おおさき
宮城県大崎市
地図 F

奥州三名湯にも数えられる、鳴子温泉の温泉熱を利用したドライフードづくりのプロジェクトが進められています。温泉の蒸気熱で約50～70℃に暖められた乾燥小屋の中に、カットした地元産の食材を並べて乾燥させ、ドライフードをつくります。

ドライフードにすることで、食材を長く楽しめるほか、調理の幅が広がるなど、新しい食材の楽しみ方を発見できます。地域の温泉資源と、地元食材とのコラボレーションによる、今後の展開が楽しみです。

DATA

【お問合せ】ウラバタケCafé
☎0229-22-6320
【URL】<http://www.urabatakecafe.jp/>



ドライフードづくりの様子



地元産品を使った温泉熱乾燥ドライフード

電源地域情報ひろば

特産品 開発情報

泊村と伊方町の交流が生んだクリ焼酎 泊の宴

とまりむら
北海道泊村
地図 D

愛媛県産の「中山栗」を100%使用した、北海道では珍しいクリ焼酎です。泊村と愛媛県伊方町は、原子力発電所立地地域の縁から姉妹都市提携を結んでいます。伊方町の酒蔵との特産品開発により生まれたのが、クリ焼酎『泊の宴』です。クリの優しい香りは料理との相性もよく、その楽しみの幅を広げてくれる逸品です。泊産のウニやホタテなどの海産物と合わせて味わってみてはいかがでしょうか。

ラベルには、『鯨御殿とまり』など泊村の名所が見事な筆致で描かれています。



栗の香り豊かな「泊の宴」

DATA

【お問合せ】泊村商工会 ☎0135-75-3231
【URL】<http://www.tomari-syokokai.com/specialty.html>

1本の原木から村を支える特産品に じゃばら

きたやまむら
和歌山県北山村
地図 G

「じゃばら」は、和歌山県北山村から三重県熊野市にかけての地域だけに自生する柑橘類です。この地域だけに育つ「じゃばら」特有の味、香りが着目され、1本の原木からその栽培がスタートしました。今では村の産業を支える特産品になっています。「じゃばら」には花粉症抑制効果があることで注目され、メディアでも多数取り上げられました。現在は「じゃばら」のもつ栄養素、味を活かした調味料、ドリンク、スイーツなどの加工品も多数登場しています。



「じゃばら」の加工品も多数開発されている

実った「じゃばら」を収穫



DATA

【お問合せ】村営じゃばら村センターわいわい市場店
☎0735-49-2037
【URL】<http://www.kitayamamura.com/>



天日干しで乾燥後、出荷されます

香川本鷹(右)は鷹の爪(左)よりも大ぶり

復活した「幻のトウガラシ」

香川本鷹

『香川本鷹』は、かつて塩飽諸島や荘内半島で栽培され、絶滅が危惧されていたトウガラシです。かつては、海外にも輸出されるほどでしたが、安い輸入品におされて徐々に生産量が減り、昭和50年代には途絶えていたと思われていました。しかし、平成18年に保存されていた『香川本鷹』の種が発見されたのを機に、塩飽諸島での生産復活プロジェクトが発足し、栽培が再開されました。強い辛みと独特のうまみで国内では最高品種とされています。

DATA

【お問合せ】丸亀市農林水産課 ☎0877-24-8845
【URL】<http://www.city.marugame.kagawa.jp/>



香川県丸亀市
地図 H

山あいのまち三次ならではの郷土料理

ワニ料理

広島県三次市
地図 I

この地方の「ワニ」とは、「鰺」のことです。山間部に位置する三次では、日持ちする「ワニ」の身は、刺身で食べられる貴重な魚として重宝されてきました。この地方特有の食材である「ワニ」を使った郷土料理は、料理店などで食べられるほか、スーパーでも販売されています。身がしまる秋から冬にかけてが一番おいしい時期とされています。現在も、おもてなし料理として親しまれているほか、最近では、『霧のまちのぐるめぐり』認定メニューとして、『ブラック Jaws Jaws 麺』や『はにワニ井〜シェフ'sスペシャル』といった商品も提供されています。



はにワニ井〜シェフ'sスペシャル

ワニの刺身

DATA

【お問合せ】一般社団法人 三次市観光協会 ☎0824-63-9268
【URL】<http://miyoshi-kankou.jp/>



西米良村の伝統野菜

米良糸巻大根

宮崎県西米良村
地図 J

「米良糸巻大根」は西米良村で栽培されている在来種で、紫色の糸が巻き付いたような縞模様が入ることから、その名がつけました。色、形、大きさにばらつきがあり、様々な表情がみられます。

通常の大根に比べて糖度が高く、肉質が緻密で柔らかいのが特徴です。収穫期の11月から1月初旬にかけて村の主な施設や無人販売所で販売されますが、すぐに品切れになってしまうほどの人気です。漬物、輪切り干しなど、加工品も登場しています。

DATA

【お問合せ】西米良村農林振興課 ☎0983-36-1111
【URL】<http://www.nishimera.jp/>



さまざまな大きさ・形をみせる米良糸巻大根



収穫風景

伝統野菜をスイーツに

田芋スイーツ

沖縄県金武町
地図 K

「田芋」は、水田で栽培されるサトイモの一種で、日本では沖縄など西南諸島で多く栽培されています。水資源に恵まれた金武町は、田芋の産地のひとつであり、田芋の水田が広がっています。そんな田芋を使ったスイーツが町内の菓子店、カフェなどで開発されています。和菓子、洋菓子、ドリンクなど種類も豊富で、人気商品も多数登場しています。田芋特有のやさしい風味や食感を、ぜひスイーツでも味わってみてください。

DATA

【お問合せ】金武町商工会 ☎098-968-2491
【URL】<http://www.kin.cc/>



田芋のアイス(上)とマフィン(下)



田芋を使用したパイ、コロッケ



掲載のご希望がございましたら、電気のふるさと編集室(☎03-6372-7305 E-mail: furusato@dengen.or.jp)までお知らせください。
掲載費用が発生することはありません。(編集の都合上、掲載できない場合がございますことを予めご理解願います)



クリスマス気分を盛り上げる
イルミネーションツリー



トナカイソリの試乗は子どもたちに大人気

銀世界のなかで
一足早いクリスマスを

トナカイホワイトフェスタ

ほろのべちょう
北海道幌延町
地図 L

トナカイと触れ合える『トナカイホワイトフェスタ』が開催されます。スノーモービルの無料試乗、トナカイとの記念撮影や、イルミネーションツリーの点灯など、クリスマスらしい企画が満載です。また、ミニ花火大会、温かいお蕎麦やホットミルク・乳製品の無料配布など、寒さを忘れさせてくれる企画も用意されています。なかでも一番の注目はトナカイソリの無料試乗です。愛らしいトナカイたちと一緒に、一足早いクリスマスを味わってみてはいかがでしょうか。

DATA

【開催日】12月11日(日)
【会場】トナカイ観光牧場
【お問合せ】幌延町産業振興課 企画振興グループ
☎01632-5-1113
【URL】<http://www.town.horonobe.hokkaido.jp/www4/index.html>



パネルディスカッション



昨年度のフォーラムでも南会津をPRしました

南会津地域の魅力を発信

全国ほんもの体験フォーラム in 福島・南会津

みなみあいづまち
福島県南会津町・
下郷町・只見町・
檜枝岐村 地図 M

『全国ほんもの体験フォーラム』とは、全国で体験型観光に取り組む関係者が一同に会し、先進的な取り組みの情報交換や情報発信をするイベントです。今回は福島県南会津郡の南会津町、下郷町、只見町、檜枝岐村が連携し、南会津の魅力を全国に発信していきます。イベントでは、情報交流会や研究分科会が開催されるほか、4町村それぞれの特徴が満載の体験プログラムが用意されています。南会津の豊かな自然、文化、人々の温かさに触れることのできる3日間です。

DATA

【開催日】11月6日(日)予定
【会場】日川渓谷レジャーセンター
【お問合せ】武田陣中ほうとう祭り実行委員会事務局 ☎0553-32-5000
【URL】<http://www.city.koshu.yamanashi.jp>

鍋いっぱい「ほうとう」



紅葉のなかで「ほうとう」を堪能



電源地域情報ひろば

イベント 情報

アートパフォーマンスも
楽しめます



境内でのアコースティックライブ



歴史・文化香る村松地域で
秋の一日を堪能

大空マルシェ

とうかいむら
茨城県東海村
地図 N

東海村・村松地域には伊勢神宮の分霊を祀る『大神宮』や、日本三大虚空蔵尊のひとつである『村松山虚空蔵堂』など歴史的、文化的な遺産があります。ここで開催される『大空マルシェ』では、県内外のクラフト作家による展示販売が行われ、作り手との会話を楽しみながら買物ができます。また、ワークショップ、ライブステージなど多数のプログラムも開催されるほか、フードコートでは、地元人気店の味を楽しむことができます。秋の一日、東海村で文化・食を堪能してみたいかがでしょうか。

DATA

【開催日】10月8日(土)
【会場】大神宮・村松山虚空蔵堂境内及び参道
【お問合せ】東海村観光協会 ☎029-287-0855
【URL】<http://tokai-kanko.com/>

紅葉のもと郷土料理を楽しむ

武田陣中ほうとう祭り

こうしゅう
山梨県甲州市
地図 O

紅葉が見ごろを迎える日川渓谷で『武田陣中ほうとう祭り』が今年も開催されます。地元産の旬の野菜やキノコがたっぷり入った郷土料理「ほうとう」は、戦国大名の武田家の陣中食として知られています。イベントでは500円で「ほうとう」が食べ放題となるほか、地域特産品も販売されています。

日川渓谷の燃えるような紅葉と渓谷美を、楽しむことができるのも魅力のひとつです。食欲の秋を紅葉のなかで満喫することができるイベントです。



みどりに囲まれた若州一滴文庫



会場となる「くるま椅子劇場」

作家 水上勉氏を偲ぶ

じゃくしゅういつてきぶん こ き かん き
若州一滴文庫「帰雁忌」

福井県おおい町
地図 P

おおい町出身の直木賞作家水上勉氏の業績を偲ぶ文学忌「帰雁忌」が開催されます。「帰雁忌」は、直木賞受賞作「雁の寺」にちなんで名づけられました。この日は無料開館され、追悼式典、写真展、記念講演などが行われるほか、茶房「一滴庵」では抹茶もふるまわれます。

水上勉氏によって設立された若州一滴文庫は、氏の蔵書約2万冊を収蔵するほか、文学作品に使用された画家の装丁・挿絵原画なども展示しています。若州人形座の公演が行われる「くるま椅子劇場」や小説の登場人物の竹人形を展示する「竹人形館」も併設しています。

DATA

【開催日】10月22日(土)
【会場】若州一滴文庫くるま椅子劇場
【お問合せ】若州一滴文庫 ☎0770-77-2445
【URL】<http://itteki.jp/>

勇壮で華麗な祭りとして知られる 灘のけんか祭り

兵庫県姫路市
地図 Q

『灘のけんか祭り』とは、姫路市白浜町の松原八幡神社で行われる、秋季例大祭の通称で、全国の数ある「けんか祭り」のなかでも最大級の祭りといわれています。3基の神輿を激しくぶつけ合う神事と、豪華絢爛な7台の屋台が荒々しくも美しく練り競う屋台練りは、一番の見どころです。“ヨーイヤサー”の勇ましい掛け声と太鼓の音が響き渡り、祭りの華やかさと勇壮さに多くの観客が魅了されます。「灘の男」の熱い心意気を今に伝える歴史と伝統の祭りです。



松原八幡神社での屋台練り



お旅山での神輿合わせ

DATA

【開催日】10月14日(金) 宵宮
10月15日(土) 本宮
【会場】松原八幡神社、お旅山
【お問合せ】松原八幡神社 ☎079-245-0413

海風のなかの音楽イベント

ライブin佐田岬風のまつり

愛媛県伊方町
地図 R

日本一細長い半島・佐田岬を舞台とした音楽ライブイベントです。地元のフォーク同好会が主催する手作りライブで、毎年音楽で佐田岬を盛り上げています。アマチュアミュージシャンがアコースティックギターでオリジナルの楽曲を披露するほか、お楽しみ抽選会や特産品販売もあります。

周囲に広がる宇和海と瀬戸内の景色を眺めながら、のんびりとフォークソングを満喫してみたいかがでしょうか。

DATA

【開催日】11月6日(日)
【会場】道の駅 瀬戸農業公園
【お問合せ】伊方町役場瀬戸支所 ☎0894-52-0111

アコースティックライブ



お楽しみ抽選会



灯籠の灯りが醸し出す 幽玄の世界

千年あかりまつり 大分県日田市

地図 S

古い町並が残る豆田町と中央を流れる花月川沿いに、約3万本の竹灯籠が並べられる「千年あかりまつり」が、「日田天領まつり」と合わせ開催されます。

この祭りは、竹林の害から広葉樹林を守ろうと始まった「日田市民環境会議・水と森部会」による竹伐採がきっかけとなりました。豆田町の人々と多くの市民や高校生が集まり、伐採した竹を利用して「竹灯籠」を飾り、祭りとして親しまれるようになりました。今年の7月には国土交通大臣の「手づくり郷土賞・大賞部門」に認定されました。

水面に映る淡い竹灯籠の灯りが「天の川」のような幻想的な風景となつて、訪れた多くの人々の心を癒やします。

花月川河川敷を照らす竹灯籠



一面に並ぶ竹灯籠



掲載のご希望がございましたら、電気のふるさと編集室(☎03-6372-7305 E-mail: furusato@dengen.or.jp)までお知らせください。掲載費用が発生することはありません。(編集の都合上、掲載できない場合がございますことを予めご了承ください)